

IIJ、IPマルチキャスト通信サービス(仮称)開始

1997年7月4日

IIJは、「IPマルチキャスト通信サービス(仮称)」をサービス提供いたします。この新サービスは、動画等の大容量データを配信する時のネットワーク負荷を劇的に軽減、プロパゲーションサーバ(中継サーバ)を多数設置する必要もなく、ネットワーク利用の効率化を進め、快適なデータ配信/受信を可能にします。

尚、ダイアルアップ接続まで含めた、エンドユーザまでのマルチキャスト配送のサービス化は、本サービスが世界で初めてとなります。

本サービスを利用することにより、音楽、ビデオカンファレンスや動画、ゲーム、ソフトウェア、データベースなどの大容量データを、大容量回線と接続されていなくとも、低コストで配信することが可能になります。ユーザはマルチキャスト対応アプリケーションを端末にインストールすることによって、マルチキャスト配信データを受信することができます。

試験サービス概要

期間:

7月中旬から9月末まで

データ受信対象:

IIJ4Uユーザ

配信予定コンテンツ:

動画/音声の常時放送, イベント中継 など

利用形態:

東京、大阪に設置した専用ポートに接続

料金:

本試験サービス利用に関わる付加料金はありません。

正式サービス概要

サービス開始時期:

年内

サービス料金:

未定

サービス内容:

IPマルチキャスト通信ネットワークへのコネクティビティ提供
(IIJ4Uの対応アクセスポイントも拡大予定)
マルチキャスト通信ネットワーク利用の総合的環境提供
(含むコンサルティング、システム構築)

サービス対象:

IIJインターネット接続サービス(専用線サービス)契約者(送受信可)

IIJ4U契約者(受信のみ可)

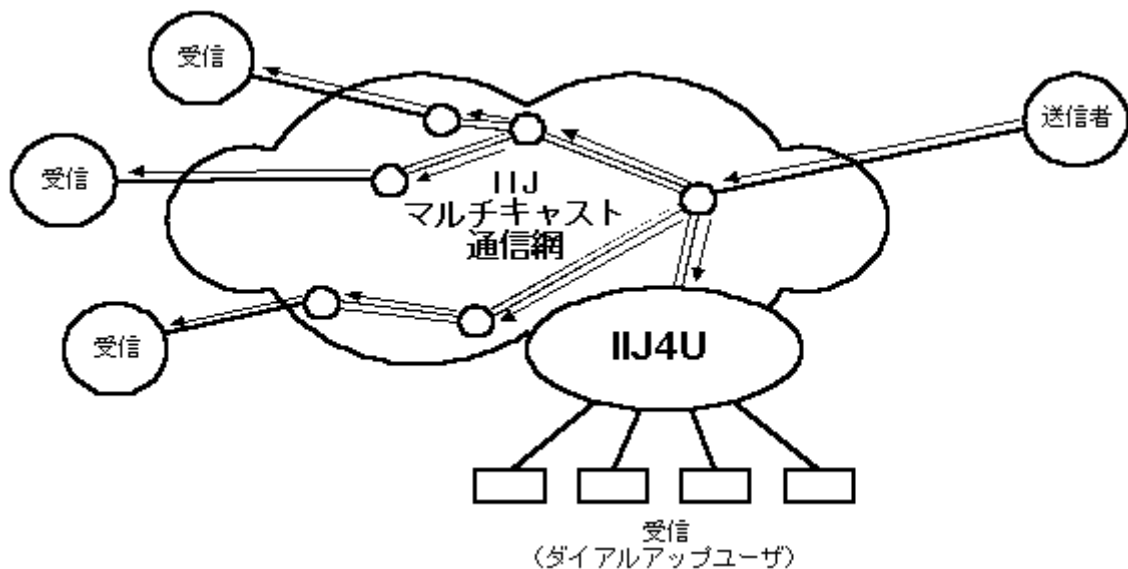
その他順次拡大予定

IPマルチキャストについて

通常のインターネット上の通信は、サーバとクライアントが一对一で通信する「ユニキャスト」で行われています。この方式だと、100人のユーザが同時にアクセスすると、サーバからは同時に100個の同じデータが送信されることになり、ネットワークの帯域や、サーバの性能にボトルネックが生じやすくなります。

IPマルチキャストを利用すれば、こうしたボトルネックを緩和することが可能です。送信者は、特定のマルチキャストアドレスに向けて1個のデータを送信するだけで構いません。あとはマルチキャスト通信網が、そのマルチキャストアドレスの受信を希望するユーザの存在する方面へデータを自動的に配信、必要に応じてデータをコピーしてユーザの手元に届けます。

IPマルチキャストネットワーク概念図:



本サービスを契約いただいた送信者が、IIJ マルチキャスト通信網に対してデータを1回送信すれば、1個のデータが各ポイントで必要に応じてコピーされ、そのデータを必要とする全対象へ配信されます。また本サービスを利用する受信者は、IIJマルチキャスト通信網に接続して、必要なデータを受信する旨を最寄りのマルチキャストルータまで伝えるだけでそのデータが自動的に配信されます。

以上

更新情報 (1998年4月1日)

1998年4月1日より、マルチキャスト受信機能の正式提供を開始しました。
